

毛呂山町

文化財散策マップ(4)

中世から江戸時代の信仰の足跡を訪ねて

(小田谷・大谷木・宿谷・葛貫方面)

中世の毛呂山には、藤原氏の血筋をひき、源頼朝の側近として活躍した御家人であった毛呂氏や、児玉党に属するといわれる宿谷氏などの武蔵武士がいました。

現在、町内には武士の時代をしのばせる多くの文化財が残されています。

毛呂山町歴史民俗資料館

〒350-0432

埼玉県入間郡毛呂山町大字大類535番地1

TEL 049(295)8282 FAX 049(295)8297

《一口メモ①》

●出雲伊波比神社本殿(国指定重要文化財・建造物)
町の中央部、臥竜山の山頂にあるのが出雲伊波比神社です。

出雲伊波比神社は、景行天皇の43年に、東国の夷を討伐するために派遣された日本武尊が、戦いに勝って帰る途中に立ち寄り、天皇から賜った比々羅木の鉾を納めて神宝とし、創建させたのが始まりといわれています。

本殿は、一度は焼失してしまいましたが、大永8年(1528年)に毛呂頼繁の手によって再建されました。一間社流造の建築様式である本殿は、埼玉県内最古の寺社建築であり、再建当時の様子を今に伝える貴重な文化遺産であるとして、昭和28年に国指定重要文化財の指定を受けました。また、再建時の棟札が残されており「本殿付棟札」として同じく国指定重要文化財となっています。

●出雲伊波比神社のやぶさめ(埼玉県指定無形民俗文化財)
出雲伊波比神社で春と秋に奉納されている流鏑馬は、康平6年(1063年)源頼義・義家父子が奥州を平定した際の凱旋の折、戦勝の御礼に流鏑馬を奉納したのが起源といわれます。

埼玉県内で流鏑馬を行っているのは、都幾川村の萩日吉神社と当地だけとなりました。県内でも希少なこの祭りは、平成17年3月に埼玉県指定無形民俗文化財に指定されました。

また、春の流鏑馬では6歳未満の幼児が乗り子となり、「願的」という儀式が行われます。このとき、乗り子の頭上には「オカイドリ」とよばれる小袖の着物が付き添います。これは幼な子を守る母親の象徴といわれています。

勇壮な若武者が疾駆する秋の流鏑馬は毎年11月3日、馬上の幼な子を見守るほのぼのとした春の流鏑馬は3月の第2日曜日に行われます。

みだり
やぶさめ祭り
とされ、乗子の頭
こでも行われま

八高線毛呂駅
昭和8年、八高
通に伴って開業さ
た。その当時の駅
部が現在でも残っ
ています。

毛呂氏館跡
中世の武士・毛
氏の館があったと
われ、現在でも土
が良好に残されて
ます。埼玉県選定
重要遺跡です。



長栄寺
大永5年(1525
年)、毛呂土佐守頼重
が創建したとされる
毛呂氏の墓と伝えら
れます。昭和39年に
定文化財となってい

《まめ知識：路傍の石仏①》

江戸時代になり、道徳思想の普及で仏教信仰が盛んになると、多くの石仏や石塔が建てられました。そんな「路傍の石仏」の中でも数多く目にするものを、まめ知識としてとりあげてゆくにしましょう。

〔馬頭観音(馬頭尊)〕

馬頭観音はヒンドゥー教のビシュヌ神の化身のひとつが仏教に取り入れられたものといわれ、他の観音が慈悲の相であるのに対し、憤怒の相をしていることが大きな特徴といえるでしょう。

集団から個人まで、広く支持された理由は頭に戴く馬の頭にあるといわれます。牛馬は当時の庶民生活に欠かせない家族同様の存在であり、馬は主として交通にその活躍の場がありました。馬頭観音は、こうして人間のために働いてくれた馬の供養の意味を強めるとともに、峠や交通の難所、村外れの道分などに多く建てられたのです。

毛呂山町きっての景勝地である鎌北湖は、桜や紅葉の美しさがテレビや雑誌等で紹介されて有名になりました。大谷木川をせき止めて造られた人造湖で、有効水深は約20m、満水時の貯水量は約300,000m³、昭和10年に7年の歳月をかけて完成しました。現在も灌漑用水として利用されていますが、平成6・7年度に実施された埼玉県内の近代化遺産の調査結果では、入間地方における大規模な灌漑用水の先駆的な例であり、とても重要であるとの位置付けがされています。



鎌北湖



北の地蔵

江戸時代中ごろの天明年間、北で起こった凶作の被害をくい止めてもらおうとして建立されたため、北を向いているのだといわれています。



このあたりでは、時期が合えば、ホタルを見ることができます。こうした清流は、いつまでも残してゆきたいものですね。

宿谷の滝



江戸時代の書物にも登場する宿谷の滝は、当時「宿多瀧」と呼ばれていたようです。また、古く修験の場でもありました。真夏でも涼やかな場所で、ハイキングの際には一服の清涼剤となってくれることでしょう。また、崖上には宿谷の滝上公園が設置されています。

宿谷の地蔵尊

寛文12年(1673年)に宿谷重本により、本人のみならず、宿谷の地に住む多くの人の幸福を祈願して建立されました。高さ133cmもあります。平成2年に毛呂山町指定文化財となりました。

宿谷の滝入り口

ここから先は車では行けません